

科目名称	公衆衛生	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 後期	2	30
担当教員	丸山 広達 他	授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無	

【1】授業概要

社会とともに変容する保健活動と社会保障システム、個人と集団に対する健康課題と健康問題に対する保健医療福祉の各種サービスを理解することにより、公衆衛生に関する基礎知識を身につけ、地域保健活動を捉えることができる。

【2】学習目標

1. 公衆衛生の定義と意義を説明することができる。
2. 健康指標を理解し、集団と個人の健康課題について分析することができる。
3. 健康課題に適した保健医療福祉サービス制度を選択することができる。
4. 公衆衛生において看護職者の担う役割について述べるることができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	公衆衛生の概念及び公衆衛生の変遷について学ぶ。 健康の概念とその要因・環境の関連について学ぶ。	講義
2	集団の健康水準に関する知識、健康指標について学ぶ。	講義
3	社会保障制度における医療に関連した内容について学ぶ。	講義
4	地域で提供されている各種サービスと地域保健活動を学ぶ。①	講義
5	地域で提供されている各種サービスと地域保健活動を学ぶ。②	講義
6	母子保健活動の変遷を理解し、母子保健活動の現状と課題について学ぶ。	講義
7	学校保健の内容と制度を学び、地域保健活動における位置づけを理解する。 感染症とその予防について理解し、感染症保健活動を学ぶ。	講義
8	生活習慣病の各種健康づくり施策について学ぶ。	講義
9	食品の安全と食品衛生管理について学び、栄養と健康の関連について理解する。①	講義
10	食品の安全と食品衛生管理について学び、栄養と健康の関連について理解する。②	講義
11	職場における健康づくりと労働災害について学ぶ。	講義
12	精神保健活動の変遷を踏まえ、現代人の生活環境や人体に及ぼす影響とその対策について学ぶ。	講義
13	健康と環境の関連性を踏まえ、現代人の生活環境や人体に及ぼす影響とその対策について学ぶ。	講義
14	疾病のリスクなどを示す疫学手法や指標を学ぶ。	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

学習意欲・授業態度、試験(小テストを含む)を総合的に評価する。

【6】教科書

神馬征峰:系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 2 公衆衛生 医学書院 2025 (電子版)

【7】参考書

「国民衛生の動向 Vol.70 No.9 2023/2024 厚生労働統計協会 2024

【8】受講生へのメッセージ

公衆衛生とはなにか、地域保健とはなにかを学んでいきましょう。